

2025 年度 一般選抜（A 日程）試験【音楽理論】

1. 例にならって、次の (1) ～ (5) の音の上方と下方に、指示された音程になるように黒音符を書き入れなさい。

例. 完全 5 度 (1) 長 3 度 (2) 増 6 度 (3) 減 8 度 (4) 短 7 度 (5) 重増 4 度

上方

下方

2. 次の (1) ～ (5) の和音の種類を答えなさい。

(1) (2) (3) (4) (5)

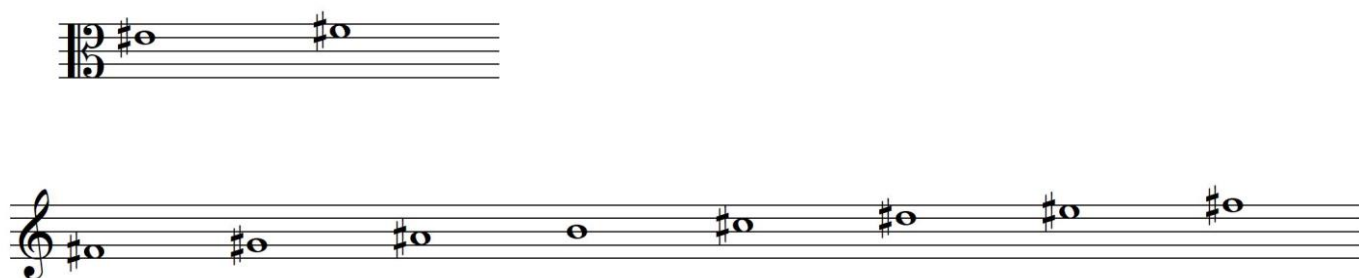
(短三和音) (長七の和音) (増三和音) (属七の和音) (減五短七の和音)

3. 次の (1) ～ (5) はアーティキュレーションに関わる楽語です。日本語で意味を書きなさい。

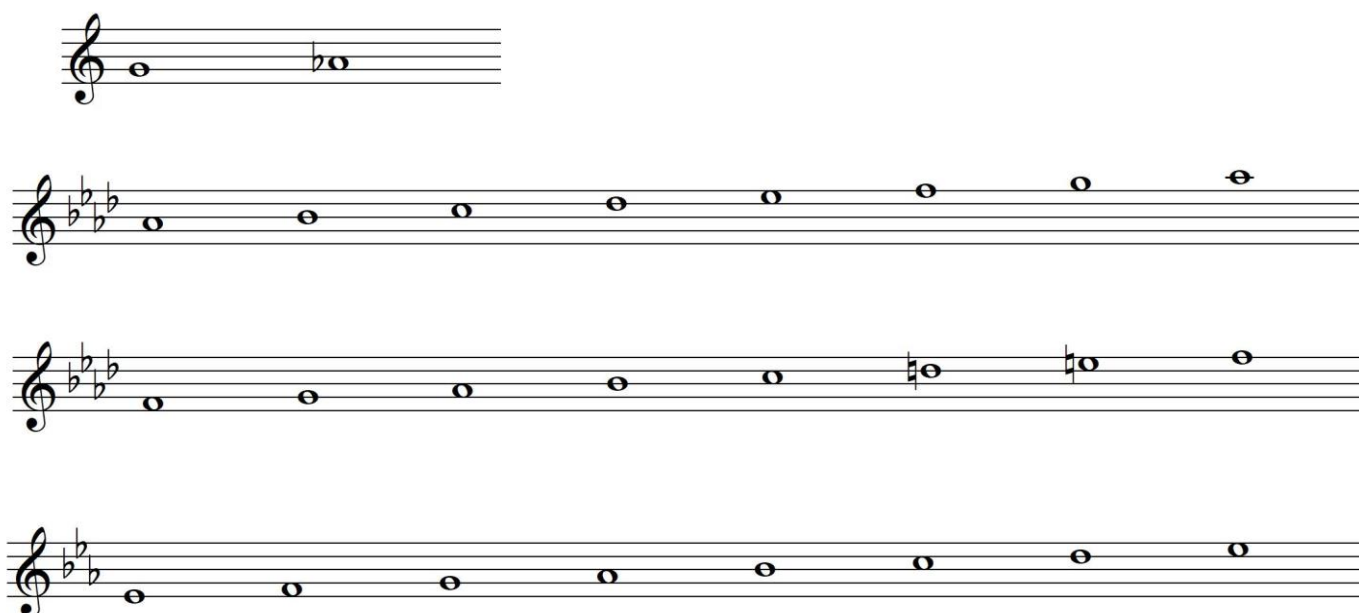
- (1) slur (音と音を切れ目なく「なめらかに」奏する)
- (2) sostenuto (音の長さを十分に保って)
- (3) tutta la forza (全力で)
- (4) martellato (弓に弾力をつけ、力強いスタッカートが続けて弾く弓弦楽器の奏法)
- (5) staccatissimo (すべての力を込めて演奏することを指す。非常に力強い演奏を求められる指示。特にダイナミクスにおいて、最大音量での演奏を示す)

4. 次の (1)、(2) の問いに答えなさい。

(1) 次の譜表にある 2 音をともに含む調号 5 つ以内の短調の音階の同主調を、与えられた譜表に調号を用いず、臨時記号で記しなさい。ただし、短調は旋律短音階の上行形とする。



(2) 次の譜表にある 2 音をともに含む調号 5 つ以内の音階は 3 つあります。与えられた譜表に調号を用いて記しなさい。ただし、短調は旋律短音階上行形とする。



5. 以下の譜例は、L.v.Beethoven のピアノ・ソナタ No.2, Op.2-2 第 1 楽章からの抜粋である。

A の部分は G dur であるが、B と C の部分の調性を判断し、解答欄にドイツ語で記しなさい。

A (G dur) B (g moll) C (B dur)

